

生産、出荷指数 とともに低下

1 概要

平成15年1～3月期の埼玉県鉱工業指数（X-11 デフォルトによる季節調整済、平成7年平均＝100）は、前期と比べ、生産、出荷が低下し、在庫、在庫率が上昇した。生産は3期連続、出荷は2期ぶりの低下となった。

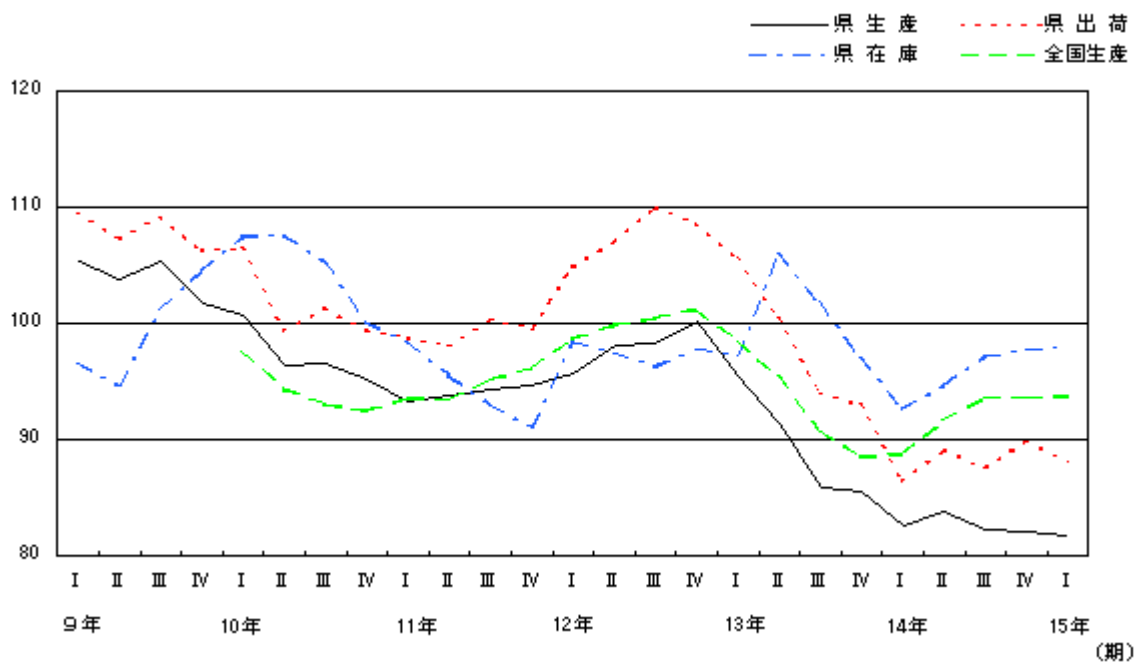
前年同期比では、生産が低下し、出荷、在庫は上昇した。

	埼玉県			全国		
	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生産	81.7	△0.4	△1.1	93.7	0.2	4.1
出荷	88.0	△2.0	1.8	95.5	0.1	3.3
在庫	97.8	0.2	5.7	90.9	△0.5	△5.6
在庫率	123.9	1.5	15.1	98.9	△3.1	△8.2

前年同期比は原指数による。全国の在庫指数は期末値による。全国は平成12年平均＝100

－埼玉県鉱工業総合指数の推移－

（平成7年平均＝100＜全国生産は平成12年平均＝100＞ 季調済）



2 業種別動向

(1) 生産

19業種中10業種が上昇し、9業種が低下した。上昇には化学工業、一般機械工業などが寄与し、低下には輸送機械工業、非鉄金属工業などが寄与した。

(2) 出荷

19業種中9業種が上昇し、10業種が低下した。上昇には化学工業、金属機械工業などが寄与し、低下には輸送機械工業、電気機械工業などが寄与した。

(3) 在庫

19業種中7業種が上昇し、12業種が低下した。上昇には輸送機械工業、一般機械工業などが寄与し、低下には電気機械工業、非鉄金属工業などが寄与した。

